



役場庁舎完成直後の風景
昭和55年8月（松田太郎さん提供）

昭和33年に建てられた旧庁舎に代わり、昭和55年7月に新庁舎が完成。その1か月後、庁舎正面を写したものです。県道はおろか、ゆずの木台の開発もまだ進んでいない、田畑が広がっている状況でした。なお、写真は2カットを一つに合わせたものです。

お知らせ

昭和60年代ごろまでの昔の写真を募集しています。ご提供いただける方は、役場秘書広報課広報広聴係 ☎(295)2112 内線332までご連絡ください。

徒然歳時記

かりん
花梨

秋も深まるこの季節、隣家の庭先に黄色く色づく大きな実を見つけることがあります。新緑、紅葉が非常に美しく家庭果樹として最適な植物、花梨です。その用途は様々ですが、一般的にはのど飴を連想する人も多いのではないのでしょうか。「カリンポリフェノール」という成分を含んでおり、のどの炎症をしずめて風邪やぜんそくのせきを止め、たんを取ることができます。中国では、そのいろいろな効用から「杏一益、梨二益、カリン百益」と呼ばれ、多くが薬用にされてきました。実はかなり固くて酸味が強く、そのままでは食べられないので、ハチミツ漬けやジャム、果実酒などに用いられます。



また、花梨は庭に植えると縁起のいい木として知られています。語呂合わせで、「金は貸すが借りない」の縁起を担ぎ、庭の表に花梨を植え、裏にカシノキを植えると商売繁盛に良いとも言われています。科学的な根拠はないのかもしれませんが、幸運を引き寄せるためのモチベーションになることは確かなようです。それほどまでに、魅力のある果樹なのかもしれません。しかし、庭先で実をつけた花梨が、そのまま朽ち果てる姿を見ると、少し残念な気がします。食してこそ、その幸運にあやかれるのではないのでしょうか。

この秋、花梨のお酒を飲んだり、ジャムを食したりして、夢を描けば、年末にジャンボな夢がかなうかも…。そんな夢を見る秋のひと時はいかがでしょうか。

秋はイベントが盛りだくさん。文化にふれ、食を楽しみ、スポーツで汗を流す、まさに秋の醍醐味です。でも、天気によって予定どおりにならないのがこの季節。秋空は気まぐれですが、大事なときには微笑んでほしいものです。(B)

編集後記

わがやのアイドル



加藤 萌ちゃん
(1歳7か月)

男勝りな性格で、ヤンチャで元気いっぱいな女の子。最近は歌を歌ったり、ぬいぐるみやママの真似っこをして遊ぶのが大好き！これからも、いっぱい一緒に笑おうね！！



吉崎 葵ちゃん
(4歳9か月)
樹くん
(1歳11か月)

とってもおてんばなあおいちゃん。最近、どんどん暴れん坊になってきたたつきくん。ずう〜と仲よし姉弟でいてね。

■秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。

申・問 役場秘書広報課 ☎(295)2112 内線332

人口 35,962人(−59人)
【男 17,916人(−36人) 女 18,046人(−23人)】
世帯 15,654戸(−32戸)
※平成24年10月1日現在(カッコ)内は前月比